



茅ヶ崎徳洲会病院 健康診断・人間ドックからの お知らせです！

ホームページから市民健診などのご予約が出来るようになりました！
電話予約は大変混み合いますのでインターネット予約をお勧めいたします。



ご予約方法

茅ヶ崎徳洲会病院ホームページトップページにある下記バナーをクリックし、画面の指示にしたがって入力して下さい。スマートフォンの方は左上のQRコードからトップページにアクセス可能です。



**今まで通りお電話でのご予約、
お問合せも受け付けております。**

健康診断・人間ドック担当(直通)
電話:0467-89-2555
FAX:0467-89-2556
お問い合わせ時間:
月～土 13:00～16:30(日・祝日を除く)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体調がすぐれない方は健康診断・人間ドック担当までご連絡いただき、日程の変更・キャンセルをご相談ください。健康診断が安全に実施されるよう、ご協力をお願いいたします。

ワンコイン健診 ■1コース 500円(複数コース選択可能) ■実施時間 14:00～16:00(平日)

受付時間 13:00～16:30(日・祝日を除く)

- 健康診断の結果で「再検査」の項目があった方
- 生活習慣を改善してその効果を確認したい方
- 外来受診・健康診断をする時間がなかなかとれない方
- 気軽に健康に関する数値を確かめたい方

コースを選択して気になる項目の血液検査を行うことができます。通常の健康診断とは違い、医師による結果説明や相談は行いませんが、次の項目からお気軽に検査をすることができます。検査結果は、採血後60分ほどお待ちいただいて当日お渡します。

茅ヶ崎徳洲会病院 健康診断・人間ドック担当

ご予約・お問い合わせは ☎0467-89-2555
ご予約をおすすめします。予約時はコース名をお伝えください。

コース	検査項目
①貧血コース	■貧血の有無がわかります 赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット
②脂質コース	■血液中の脂質異常を調べます 中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、L/H比、nonHDL-C
③血糖コース	■糖尿病の指標になる検査です。※空腹時の検査をおすすめします 空腹時血糖、HbA1c
④肝機能コース	■肝障害の有無を調べます AST、ALT、γ-GTP
⑤腎機能コース	■腎機能を調べます クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カリウム、クロール
⑥痛風コース	■痛風のときに上昇する血液中の尿酸値を調べます 尿酸、尿素窒素、クレアチニン
⑦尿コース	■基本的な尿検査です 尿タンパク、尿糖、尿潜血
⑧体脂肪コース	■肥満度を調べます 体脂肪率、身長、体重、BMI、血圧

編集後記



今年の夏は東京オリンピック・パラリンピック開催や緊急事態宣言であつという間に過ぎ去ってしまいましたね。暑さもだんだんと落ち着きをむかえ、秋の足音が聞こえてきました。毎年秋の夜長には何をしようか悩みます。読書・運動・芸術……また食欲の秋にならないように、今年は頑張ろうと思います。10月からは茅ヶ崎市の75歳以上の健康診査がはじまります。今年はコロナウイルスのワクチン接種の影響で、例年と1ヶ月ずれの10月～12月の受診期間となります。例年と変わっておりますので、受診される方は気をつけてください。



健康管理センター 福島

えぼしめ～る vol.20



「要精密検査」が あったら、二次健診を 受けましょう！

皆様は健康診断の結果に「要精密検査」と書かれていたことはありませんか？

「要精密検査」とは、「治療が必要かどうかを判断するために、より詳しい検査が必要です」という判定です。「要精密検査」があった場合、二次健診を受けることが必要です。

二次健診を受けることによって、自覚症状の無い病気が見つかる可能性があります。病気の中には自覚症状がでないものも多くあります。症状が無いからといって二次健診を受けないままにしておくと、隠れていた病気が進行して治療に時間がかかってしまう場合があります。また、他の病気を引き起こしてしまったりする危険性もあります。

病気は早期発見できれば治療もしやすく、医療費の負担も少なくすみます。

「要精密検査」があった方はご自身の健康のために、一度外来を受診して、医師の診察や精密検査を受けてください。

当院における二次健診

再検査、精密検査が必要とされた場合には、迷わず受診しましょう。
異常があっても早期であればあるほど、治療効果は高くなります。

採血で脂質や血糖異常の場合

→内科で精密検査を受けましょう

血糖値が高い場合は糖尿病の疑いもあるので、専門医師に診てもらい、HbA1c やインスリンの血液検査、ブドウ糖負荷試験を受けましょう。糖負荷試験は検査用の砂糖水を飲んで、 だ後の血糖値を測定するものです。

胸部レントゲンで影があった場合

→内科で胸部 CT 検査を受けましょう

肺がんや肺炎、肺結核など肺疾患がないか、胸部 CT 検査による精密検査で調べることができます。肺機能検査、喀痰検査などのさらに詳しい検査を行う場合もあります。

胃バリウム検査で異常があった場合

→外科で胃カメラの検査を受けましょう

胃がん、胃潰瘍や胃炎の可能性があり、胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)での詳しい検査が必要です。当院では経口と経鼻の2つのタイプから選べます。

便検査で血が混じていた場合

→外科で大腸カメラの検査を受けましょう

「便潜血反応が陽性」と指摘された時の精密検査には、大腸カメラ(下部消化管内視鏡検査)が最も確実です。肛門からカメラを入れて大腸の内側を見ていきます。

泌尿器系の検査で異常があった場合

→泌尿器科で精密検査を受けましょう

腎機能、尿潜血、PSA 検査異常(オプシオン)、前立腺肥大(超音波検査による)などの検査で要精密だった場合は泌尿器科を受診し、腹部超音波検査や CT、MRI 検査を受け詳しく調べましょう。前立腺がんが疑われる場合は前立腺生検を行うこともあります。

心電図で異常があった場合

→内科で再検査を受けましょう

不整脈、心筋梗塞や狭心症などの可能性がありますので、内科で再検査を受けましょう。負荷心電図検査、心臓超音波検査の他、不整脈、狭心症の有無を見るホルター心電図検査を行います。

放射線科のスタッフは、

当病院にある放射線医療機器を

全員が操作することができます。

安心して検査を受けていただければ

幸いです。

放射線科技師長

赤松 英雄

Akamathu Hideo



放射線科とはどのような診療科ですか？

端的に言えば、患者様が病気を疑ったとき、画像をもって診察を補助する役割を担うのが放射線科ということになります。

例えば、患者様が頭痛や腹痛で来院されたとき、まずは先生の診察を受けることとなりますよね。その上で、先生が検査をした方が良いと判断をされたとき、初めて放射線科にお越しいただくこととなります。そこで症状に合わせた医療機器を使い、検査を行うのが我々の役割といえると思います。

また、放射線科にいるスタッフは、当病院にある放射線医療機器を全員が操作することができます。そのため、安心して検査を受けていただければと思っています。

CTについて教えてください

CTはComputed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略で、主に体の中の形状を客観的に診るときに使う医療機器となります。



人体を輪切りにしたような断層画像や立体的な画像を撮ることができます。例えば、頭部では脳出血、腹部では腸閉塞や虫垂炎の疑いがあるとき、また最近では胸部の検査によりコロナを発見するのにも用いられています。

CTは検査時間が圧倒的に短いというメリットがあるため、救急で来られる患者様の検査のとき、最初に行う検査として

も知られています。

そのため当院もそうですが、救急外来の目の前にあることが多いという特徴もあります。

MRIについて教えてください

MRIはMagnetic Resonance Imaging（磁気共鳴断層撮影）の略で、体の中の形状に加え、質的診断をするときに用いられる医療機器となります。

ここでいう質的診断とは、例えば、MRIの使用により癌を発見した場合、その癌が良性のものなのか、あるいは悪性のものなのかといったところまで診ることを指します。

こちらは、磁石を使って体の内部を画像化するため、同じ部位をさまざまな撮り方によって何回も撮影することにより、病気を発見する検査となっています。



主に脳梗塞やヘルニア、腫瘍、骨折、癌などの発見に活躍してくれます。

また、放射線科の中では唯一放射線を使わない検査としても有名です。

CTとMRIであれば、MRIの方がより細かく調べられるので、MRIの方の検査を受けたいというお声をいただくこともあります。

しかし、MRIはCTと比べて圧倒的に検査結果が出るのが遅いことや、ペースメーカーを入れている人は磁石で体を検査するMRIを使えないというデメリットもあるため、その辺りは症状に合わせて臨機応変に検査をしています。

無痛MRI乳がんについて教えてください

従来の乳腺の検査と比べると、マンモグラフィ、エコー、触診が主流でした。これらは女性の患者様が乳房を見せなければならなかったり、検査に痛みを伴うものもあったことなどから、受診する人が少なく、大きな課題となっていました。

そのような中、こうした苦痛を味わうことのない、画期的な検査方法が開発されました。それが無痛MRI乳がん検診（愛称：ドゥイブス・サーチ）です。

こちらは、MRIを使用した検査で、洋服を着たままでの受診が可能です。痛みもなく、乳房を見せることも直接触られることもなく、20分程度の撮影で済むので、受ける方は今までのようなストレスを感じることはありません。

もちろんMRIを使うため、放射線は未使用。よって被曝の心配もありません。

また、当院では女性技師が検査を担当しますので、安心して検査を受けていただければと思っています。

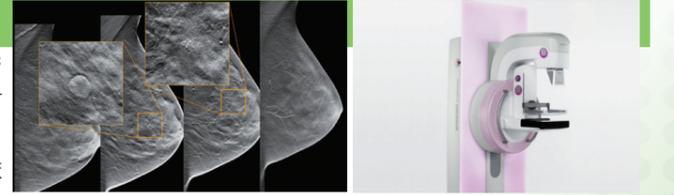
過去に乳腺の検査で痛い思いをして、それから検査に行くのをやめてしまった方や、痛いというイメージが先行してしまい、過去に一度も受けたことのない方は、ぜひ一度受診を試してみてください。きっと乳腺検査のイメージが覆るはずですよ。

3Dマンモグラフィについて教えてください

通常のマンモグラフィに加え、乳腺を断層で撮影することができるものが3Dマンモグラフィとなります。1mm間隔で撮影をすることができるため、より詳しく検査をすることができます。

これにより、乳腺の重なった箇所の病変を見つけやすくなりました。

また、従来のものと比べ、圧迫による痛みは軽減されているのも大きなメリットとなっています。



骨粗しょう症検査について教えてください

こちらは骨密度測定装置の上に寝ていただき、腰椎と股関節を測定する検査となります。

検査結果を装置の中に入っているデータベースと照らし合わせ、患者様の骨密度について分析、結果をお知らせします。

閉経以降の女性の方は特にホルモンバランスが崩れやすく、骨粗しょう症になりやすいと言われていますので、ぜひ一度検査を受けてみることをおすすめいたします。



患者様と接する中で、普段はどのようなことを心がけていますか？

患者様が診察後に放射線科に来た際、稀に「ここも痛かった」などとお話されることがあります。もしかすると、診察時、先生に言いそびれたかもしれません。

こうした情報は診察をする上でとても大切ですので、常に患者様とは密にコミュニケーションを取り、話をしやすい空間を作ることをご心掛けています。

また検査を怖がっていた患者様が、検査をすることによって、ホッとしてくれたり、喜んでくれるととても嬉しくなります。

検査をしてくれる先生や技師の方がいい人だったから、次の検査もまた当院に行こうと思ってくれたら、これほどの喜びはありませんね。

開業医、クリニック、地域の医療機関からの紹介検査について教えてください

当院で行っている検査のうち、約3割が近くの開業医、クリニック、地域の医療機関からの依頼となっています。

特に緊急度の高い検査の場合は、もともと患者様が通われている医院の医師に直接連絡を取ることもしばしばあります。そのときは、患者様のかかりつけ医の指示に従い、迅速に対応するよう心掛けています。

「えぼしめ〜る」をご覧になる患者様へのメッセージをお願いします

患者様が安心して、来院していただけるような環境作り、そして、丁寧な検査を目指しております。

また検査を通じて、地域貢献もしてゆきたいですね。

何か困ったことがありましたら、お気軽にお越しいただければと思っています。

